

# INACHO ROTARY WEEKLY NEWS

事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158  
 会長：池上幸平 副会長：唐澤千明 幹事：熊谷 健 公共イメージ向上委員長：田中真人



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022 国際ロータリーのテーマ

奉仕しよう みんなの  
人生を豊かにするために

2021-2022 RI会長  
シェカール・メータ  
＜インド（西ベンガル州）＞



第1602回例会 令和3年11月30日(火)

■ 点 鐘 12:30

■ ソング 翔け中央ロータリー 鈴木一比古ソングリーダー



■ 会長談話 池上幸平会長



アイサーブとウイサーブの違い

ロータリークラブは1905年アメリカのシカゴでポール・ハリスによって設立され、職業倫理の高揚を学び一人一人の職業を通じて社会に奉仕するI serve「私は奉仕する」団体です。ライオンズクラブは創立者メルビン・ジョーズによって1917年にアメリカのダラスで設立されました。もともとはロータリークラブの会員でしたが、運営の意見の違いでライオンズクラブを設立し、寄付・寄贈を中心に奉仕活動を展開しました。We serve「我々は奉仕する」を理念とした団体です。ライオンズクラブはクラブ全体でまわって一つの事業に基金を拠出し、原則として個々では奉仕はしません。ロータリークラブは基本的に会員一人一人が奉仕活動の単位であります。設立時の目的の違いとしては、ライオンズクラブは奉仕活動と親睦に対し、ロータリークラブは互惠主義で外部への奉仕は後から追加されたものらしいです。

ロータリアンは全員が報酬無しに、より良い人間社会の実現のために働く奉仕団体の「ボランティア」である。昨年2月に来日したピチャイ・ラタクル元RI会長の言葉。ロータリアンがすべて報酬無しで人類の生活向上のために良い働きをしているボランティアであることを常に心に留めておいて、ボランティアは超我的奉仕の仕事をする人達で、ロータリーの偉大な人的資産で大切に遇しなければいけない。「ロータリークラブはアイサーブであり寄付団体やボランティア団体ではない」と教えられていた私どもはどう受け止めたらよいのか理解に苦しむところがあります。「アイ、スタディー」そこで私たちは常に勉強をしなければと思います。形式や今までの慣わし等にとらわれずに自分たちのクラブの活動が何年後かに形になり、その活動が継続されることを地域住民の人たちが有難いなというものになればと思います。アイ、スタディーは宮下健さんからの提案で付け加えてみました。皆様はどう感じ、どう思いましたでしょうか。素晴らしい発想とかアイデアはじっくりと考えても出てくるものではなくて、休憩などのチョットした雑談の中から生まれ、又、会議などの核心の部分には休憩のいっぶくの時に話の内容が見えてくるものであると思います。これは幹事からの受け売りです。今日は他力本願の会長談話でした。

## ■ ニコニコボックス

- ◆池上幸平 23日、IACと信大留学生との交流会、大変ご苦労様でした。担当委員会の皆様、準備の段階から打合せ等、誠にありがとうございました。素晴らしい交流会ができたと思います。
- ◆熊谷健 今年の年末家族会は来賓を呼ばないことになりました。そこでアトラクションは「伊那中央ロータリークラブ学芸会」を予定しています。出演者は清水吉治会員・藤澤健二会員・池上会長のお孫さんの池上とうま君、それに不肖私を予定しています。私も出たいという方がいらっしやれば幹事までお申し出下さい。
- ◆小椋文成 23日、インターアクトクラブ留学生交流会、無事終了することができました。生徒も留学生も積極的に交流して楽しそうでした。
- ◆井上修 インターアクト独自研修「留学生交流会」が終わりました。ありがとうございました。ところで、3年生は修学旅行もなく卒業します。希望もあり、独自研修第二弾「伊勢訪問」令和4年2月26日～27日を企画しています。インターアクトでなく、青少年育成基金に申請させて頂いています。
- ◆多田浩之 6年間お世話になりましたが、1月1日をもちまして伊那の地を去ります。移動先は金沢になります。是非、皆様で遊びに来て下さい。後は新潟県柏崎から来ます。
- ◆矢島宏 メジャーリーグMVP、大谷翔平選手おめでとうございます。「私は伊那中央のMVPだ」と池田幸平さんが豪語されていました。「平(へい)」しか合ってませんが。

## ■ 幹事報告 熊谷健幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。



## ■ 委員会報告

### ・11月23日(火・祝) 伊那西IACと信大留学生交流会の報告 井上修青少年奉仕委員長



第19回伊那西高校IAC主催の信州大学留学生との交流会が、令和3年11月23日に伊那西高等学校で9時から15時の日程で行われました。参加者は30名。留学生はモンゴルのジャミヤンプレブ ソヨルマーさん、中国のペン シャオユ君、スリランカのディッピティヴィターナゲ サンジーワ プブドウ クマラ君、スダシンハ サッタヤ プラバンダカ君、ベナンのバグドウ アブデル ファワス君の5名、伊那西高等学校IAC生7名、顧問2名、東海大学諏訪高校IAC生1名、英語クラブ3名、顧問1名、ALT講師2名、茅野ロータリークラブ1名、伊那ロータリークラブ1名、伊那中央ロータリークラブから池上会長、熊谷幹事、青少年奉仕委員 下井氏・小椋氏、国際奉仕委員長 宮澤豊和氏、国際奉仕副委員長 馬場氏、井上の30名です。昨年は留学生はリモート参加でしたが、今年はリアル参加で親交が深まりました。今年も、東海大学諏訪高校がインターアクト生が受験等で一名のみの参加となり、その分、英語クラブとALTの方々が参加してくれ大いに盛り上がりました。先ず、アイスブレイクから始まり、学校クラブ紹介、東海大学諏訪高校の英語クラブの英語による日本紹介、留学生母国紹介、母国の言語学習と目白押しの内容でした。今後は会場を交互にという意見も出て益々活発になるよう努めて参ります。



## ・12月21日（火）年末家族会の案内

## 加藤篤親睦活動・友好委員長



12月21日（火）に開催を計画しております「年末家族例会」のご案内書を本日配布させていただきました。

去年は開催できませんでしたが、本年は会員ならびに会員家族限定で開催しますので、案内文書に記載されている通り多くの会員と会員家族の皆様のご参加をお願い申し上げます。

会員によるアトラクションについて、出演希望の方は幹事報告にあった通り熊谷幹事へ申し出願います。

昨年開催できなかった分も含め会員相互の親睦を深めるとともに、会員家族の皆様にもロータリークラブについて理解を深めていただく会にしたいと存じます。ぜひよろしくお祈りいたします。

## ■ 出席報告

会員数46名 出席免除会員5名 長欠会員1名 本日出席者28名（内Zoom 0名）  
事前メイク1名 出席率72.5% 前回出席率 修正なし

## ■ クラブフォーラム

### 「ロータリー財団委員会」 「米山記念奨学委員会」

#### 「ロータリー財団委員会」 平澤理ロータリー財団委員長



\* 財団は何をしているのでしょうか？

A. 人道的、教育的、文化的プログラムへ資金を提供

\* 財団は誰が運営しているのでしょうか？

A. RI会長に推薦されRI理事会で任命した15名の財団管理委員によって運営している。

\* RIが財団を運営しているのでしょうか？

A. ロータリー財団は法人。RIは世界中のクラブの集合体です。

\* ロータリー財団への寄付にはどんな種類がありますか？

- A. 1.年次寄付（個人で1,000ドル以上）  
2.恒久基金（基金として積立元金には手をつけず運用益の運営）  
3.使途指定寄付（ポリオプラスに代表される使い道を指定）

\* 財団に寄付をするとどんな認証が受けられるのでしょうか？

- A. 1.ポールハリスフェロー（年次、使途など1,000ドル以上）  
2.マルチプルポールハリスフェロー（2,000ドル以上）  
3.ベネファクター（恒久基金に1,000ドル以上）  
4.大口寄付者（寄付の累計が10,000ドル以上）

\* 財団は寄付の分配をどのようにしているのでしょうか？（シェアシステム）

A. 3年前の地区における寄付総額の半分が地区へ支給されます。（DDF地区財団活動資金と言います）

また、その半分が地区補助金としてクラブの奉仕活動に使い、支給された半分がグローバル補助金として、使うことが出来ます。（ただし、半分のうち5%の手数料が引かれます）

#### 「米山記念奨学委員会」

#### 宮澤友浩米山記念奨学委員長



●ロータリークラブ米山記念奨学事業とは

公益法人ロータリー米山記念奨学会と日本のロータリークラブが共同で運営する民間奨学団体です。日本で学ぶ外国人留学生に対し奨学金を支給し、支援する国際奨学事業を行います。

●事業の使命とは

将来、日本と世界を結ぶ「架け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー事業の良き理解者となる人材を育成する事。これこそが、ロータリーの目指す「平和と国際理解の推進」に他ならない。

●なぜ、外国人留学生を支援するのか

1952年東京ロータリークラブが発表した「米山基金」に始まる。日本のロータリーの創始者である米山梅吉氏の生前の功績を讃え、後世まで残る有益な事業を行いたいという思い。

そもそも東京ロータリークラブは海外から優秀な学生を日本に招き勉学を支援する奨学事業として設立されています。背景は二度と戦争の悲劇を繰り返さないため、平和日本を世界に伝え国際親善と世界平和に寄与したいという戦後ロータリアンの強い願いでした。

●米山記念奨学金の特徴とは

お金を単に手渡すのではなく、交流を重んじています。毎月一回以上世話クラブの例会に参加し、会員との交流によって日本の社会を知りロータリークラブについて理解を深め、奨学期間終了後も「ロータリー学友」として国際ロータリーのコミュニティに参加します。

その柱は世話クラブによる、カウンセラー制度です。奨学生1人に対し地区内ロータリークラブが世話クラブとなり、奨学生は世話クラブから奨学金を受け取り交流します。さらに世話クラブがカウンセラーとして日常の相談役を務めます。

さらなる特徴として民間最大の国際奨学事業であると言う事です。2021年奨学生は910人。事業費は14億円を超え、民間奨学金は国内最大です。これまでの累計奨学生は22,267人。出身国は129か国の地域に及びます。

■ 点 鐘

13:30

次回例会

12月7日(火) 点鐘/12:30 場所/海老屋料理店  
・年次総会(次期役員理事発表・委員会会計中間報告)